

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 工業の振興と産学官連携の推進
 基本事業 新規企業の立地促進

事業名 **工業団地環境整備事業**

[0885]

部名	経済部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	企業立地推進室参事(企業立地担当)	事業終了年度	-年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市内工業団地</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>安全確実な交通アクセス機能を向上させること及び上下水道インフラを整備することにより、工業団地の操業環境向上化及び新規企業の立地を推進する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>工業団地の沿道及び既存企業から要望のある道路の舗装新設整備、痛みが激しく補修が急がれる路盤の道路を整備する。 工業団地内の上下水道を新設 整備する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	工業団地面積	ha			388.4	387.8
対象指標2						
活動指標1	要望 調査等に基づく整備実施件数	箇所	0	0	2	0
活動指標2						
成果指標1	道路整備実施延長	m	0	0	1,584	0
成果指標2	上下水道整備実施延長	m				
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	75,839	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	75,839	0

費用内訳	
21年度	委託料 7,547千円、工事請負費 68,292千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景	工業団地の沿道及び既存企業から要望のある道路の舗装新設整備、痛みが激しく補修が急がれる路盤の道路を整備する。 企業誘致に必要な上下水道インフラを整備する。	事業を 取り巻く 環境変化	江別RTNパークは本来、先端産業を誘致する工業団地だったが、平成21年度から食品製造業の誘致を始めた。このため、下水道整備が必要不可欠になった。
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

工業団地のインフラ整備は、市が実施しなければならない。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

安全確実な交通アクセス機能を向上させること及び上下水道インフラを整備することにより、工業団地の操業環境が向上し、新規企業の立地にもつながる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

財源がなければ整備ができず、長期的な計画は立てられない。しかし、交通アクセス機能は少しずつ向上していると思われる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

財源がなければ整備は難しいが、企業の誘致につながれば費用対効果は大きい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

整備に係る実質的な業務は建設部・水道部で行うため、経済部としては人件費をかけていない。